

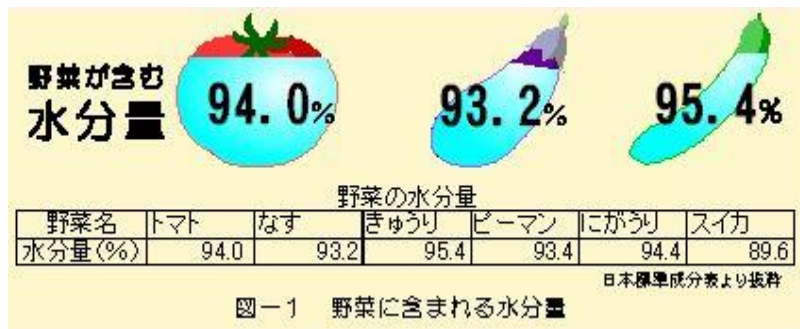
酸素水で灌水を増やし収量アップ!!

◇灌水の難しさを酸素水で解決

これまで灌水のやり過ぎは、酸素欠乏を引き起こし根腐れ・徒長現象・病害などを発生させるので、灌水には豊富な経験と知識が必要でしたが、酸素を多量に含んだ酸素水は、酸素不足による根腐れなどの諸弊害を防止しながら、収量を増加させることができます。

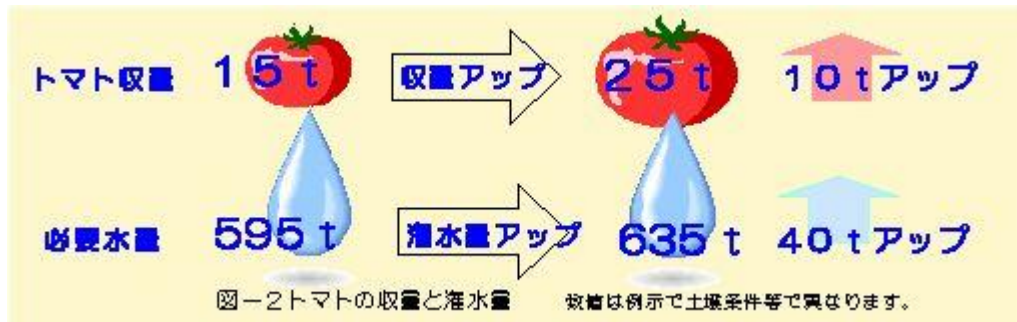
◇収量アップには灌水を増やす

野菜に含まれる水分量は約 90%、水は作物の最大の原料です。「灌水量アップ」なしでは「収量アップ」は実現できません。



□トマトの収量を 15 t / 10 a から 25 t / 10 a にするためには

果実重量増加分に占める水分量が 9.4 t、茎葉根からの水分蒸散量が 30.6 t、合計で約 40 t の水が多く必要となります。栽培期間 8 ヶ月、灌水間隔 5 日に 1 回と仮定して単純計算すると、1 回当たりの灌水量は、約 833 L 多く必要となります。(下記図参照)



□酸素ナノバブル水は湿害を解消

根は、土壌内空気から根周囲の水膜へ溶け込んだ酸素を、水と共に吸収します。(図-A) 湿害は土壌内空気と水が置き換わり、水膜への酸素供給が途絶えることで発生します。(図-B) 酸素水は、水に溶けた状態で根に酸素を供給するので、速効性があります。(図-C) 根が水中に完全に水没する水耕栽培で、作物が健全に生育できるのは、栽培水に酸素が十分に含まれているからです。(図-D)

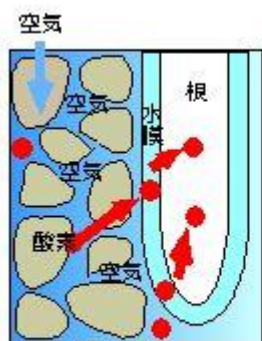


図-A 根の酸素吸収

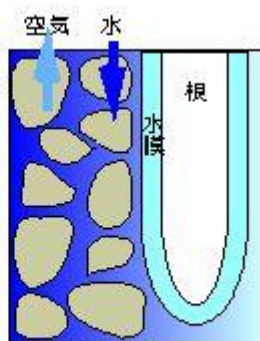


図-B 灌水時の酸素欠乏

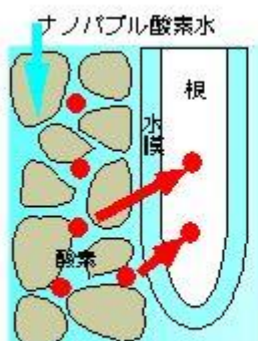


図-C 酸素水の灌水



図-D トマト水耕栽培